



▲二窓地域



▲小梨地域

1月下旬から3月上旬にかけて、市内各地で、神明祭・とんど祭が行われました。2月1日に行われた小梨地域の神明祭では、早朝から、地域のみなさんが準備に取り掛かりました。みんな炭坑節を踊った後、今年の年男・年女に当たる人が点火。小さな子どもから高齢者まで、地域のみなさんに見守られ、神明さんが燃やされました。

願いを乗せて 天高く燃え上がる ～各地で開催 神明祭・とんど祭～

動かす様子は大迫力で、会場からは歓声が沸き起こりました。夕暮れになると神明さんに点火します。暗闇の中で燃える神明さんは、圧巻でした。

また、大王地域では、2月22日、大王公園で神明祭が行われ、小雨が降ったりやんだりする中、たくさんの人で会場は賑いました。点火の前の神事では、宮司さんが祝詞を読み、代表者が玉串を供えました。水分を多く含んだ神明さんは、大きな煙を上げながら空高く燃え、火が小さくなると、地域の人が作ったおもちが配られ、来場者は、焼き餅を堪能していました。

無病息災、五穀豊穡などの願いが込められ、地域の特色ある神明祭・とんど祭となっています。



▲大王地域

地域のいいもの いっぱい！～吉名よがんすのお～祭り～



1月25日、吉名小学校で、第8回吉名よがんすのお祭り開催されました。ステージでは、漫才や大道芸、バンド演奏、踊りなどが披露され、物販・飲食ブースでは、牡蠣やじゃがいもなど吉名の新鮮な農産物や海産物などの特産品を求める人で、長い行列ができていました。体育館では、吉名公民館の展示作品を眺める人や、凧の創作に取り組む子ども達や抹茶を楽しむ人の姿も。大人から子どもまで、たくさんの方が吉名の旬の特産品などを楽しんだ一日になりました。

フィリピン・ミンダナオ自治政府人材育成

～広島による平和構築の支援～

1月27日、フィリピン・ミンダナオのバンサモロ自治政府の人材育成のため、広島で研修を受けている12人が、地域づくりについて学ぶため、竹原市を視察しました。

市役所で2時間の講義を受けた後、町並み保存地区や大久野島等を訪問し、歴史文化・自然環境など、地域の資源を活用したまちおこしの様子や、住民との協働によるまちづくりの具体的な取組みについて学びました。



バンブー公園に「三春の滝桜」を植樹

11月28日、バンブー公園で、「三春の滝桜（ベニシダレザクラ）」の植樹が行われました。植樹した木は、高さ5メートル、幹回り25センチメートルの若木で、親木は、福島県にあり、国の天然記念物にも指定されている樹齢約1,000年の巨木です。4月には、修景池の上で薄紅色の素敵な花を咲かせてくれます。桜の季節が待ち遠しいですね。



▲植樹の様子

▶親木
(三春の滝桜)



貴重な地域の宝 文化財を守る

1月24日に竹原市重要文化財・森川家住宅で、2月14日には町並み保存センターで、文化財防火訓練が行われました。訓練を通じて、文化財を守るための日頃の備えの大切さを知ることができました。



個性が光るおもちゃが完成！

2月7日、たけはら美術館文化創造ホールで、子ども創作大会が行われ、市内の小学生約70人が参加しました。広島大学の学生10人を講師として、ものづくりを体験。同じ材料でも、子どもの個性が光る作品がたくさん出来ました。



自分好みの色で お雛様絵付け体験！

2月8日、たけはら美術館文化創造ホールで、美術体験講座が行われました。竹原市美術協会の高尾とよ子さんを講師として、素焼きのお雛様に自分好みの色を付け、オリジナルのお雛様を作りました。後は窯で焼いたら出来あがり。完成が楽しみです。



プロのオーケストラと 音楽を楽しむ

1月26日、忠海東小学校で、文化庁が行う「文化芸術による子供の育成事業」として、日本サロンコンサート協会によるコンサートとワークショップが行われました。コンサートでは、児童が笛など簡単な楽器を演奏し、オーケストラと共演したり、オーケストラを指揮したりと、盛りだくさんの内容で、最後の曲が終わると、観客のみなさんから、「ブラボー」の歓声と大きな拍手が送られました。また、ワークショップでは、児童がバイオリンなどの演奏に挑戦。オーケストラのみなさんに教わり、綺麗な音色で演奏できました。



トップスポーツ選手に挑戦！

2月14日、バンブー公園の体育館で、広島ガスバドミントン部の選手によるトップアスリート・バドミントン教室が開かれ、約70人が参加しました。トップスポーツ選手に教わりながら練習を行った後、選手とペアを組んだり、選手に挑戦するなど、試合を楽しみました。試合前の選手のデモンストレーションでは、シャトルの速さに歓声が起こりました。